

# 全国商工新聞

## 長岡版

発行編集  
長岡民主商工会  
長岡市中沢167-1  
☎ 33-5948

2016年  
8月29日  
第1825号

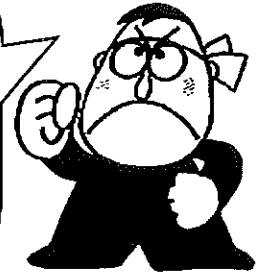
厳しい残暑の季節となりまし  
た。昔はお盆が過ぎると涼  
しくなったものですが、近年  
は35度を超える事もありま  
す。熱中症に注意しましょう。

# TPPの影響について考えましょう 私たちの営業・暮らしはどうなる？

先日、2年ぶりに開催された「くらしとTPPを考えるサマーフェスタ」。来場者の中には、TPP（環太平洋連携協定）について認識を新たにした人も多かったのではないのでしょうか。臨時国会では協定の批准が焦点となります。私たちもここで考えてみましょう。

TPPは、農業に関する協定というイメージで捉えられています。それだけではありません。協定は医療・保険・金融・公共事業など多くの分野に及び、「関税の撤廃」と「規制の緩和・撤廃（経済の国境をなくす）」が目的です。「関税の撤廃」は、安価な外国製品が市場にあふれる→価格競争に巻き込まれ、国産品は売れなくなる→日本はますます不景気になり、経済の主権を米国に奪われてしまいます。「規制の緩和・撤廃」は、米国大企業が日本で営業をしやすくするために行います。例えば、全ての国民を対象とする公的健康保険制度がない米国では、企業がこの事業に参入しています。TPPによって米国の健康保険会社が日本で営業しようとする、現行の国民皆保険制度が邪魔になりますから、この制度の廃止（法律の改廃）を求める可能性があります。また、これまでで地域の業者が請け負っていた仕事が、協定によって地域外・国外の企業との競争にさらされた結果、奪われてしまう恐れがあります。

TPPは国民の権利・安全よりも多国籍大企業の利益を優先します。それはさらなる格差増大や経済崩壊を招き、私たちの営業とくらしを破壊します。したがって、批准を認めることはできません。「TPP反対」の声を大きく広げましょう。



## 「消費税増税は断念せよ」の声を大きく広げましょう！

安部首相は7月の参院選を乗り切るため、「世界経済が大きなリスクに直面している」として消費税の10%への増税を平成31年10月に再延期しました。一方、増税を前提とした「社会保障の充実策」が、財源が失われたことを理由に行き詰まり、政府は医療・介護の分野を中心に制度の改悪を狙っています（75歳以上の医療負担を2割に引き上げる等）。

政府がこれを強行した場合、増税は延期されただけですから、社会保障改悪による負担と増税による負担が、いずれ私たちに重くのしかかることとなります。そもそも消費税と社会保障は切り離して考えるべきです。



個人消費を停滞させて一層の不況を招き、社会保障改悪の口実にも利用する。消費税とは何という悪税でしょうか。何としても増税断念に追い込みましょう。

## 記帳の進みはいかがですか？ 班・支部で集まりを持ちましょう！

早いもので8月ももう終わり、確定申告からおよそ半年が経過しました。先日、会員の間からも「うかうかし」といって、あつという間に申告の時期を迎えてしまつたとの声が聞こえてきました。記帳の進みはいかがですか。暑く忙しい毎日ですが、少しずつでも申告に向けて準備しましょう。この半年間の商売の振り返りや見直しにもなります。班・支部では記帳学習会などの集まりを持ち記帳の仕方を交流するとともに経営力アップのため、学び合いましょ。

